

関谷友加里 piano
芳垣安洋 drums

2025 07月27日(日)

開場 14:30

開演 15:00

(2ステージ入替無)(1drink=600~)

MC=3300+2drinks order

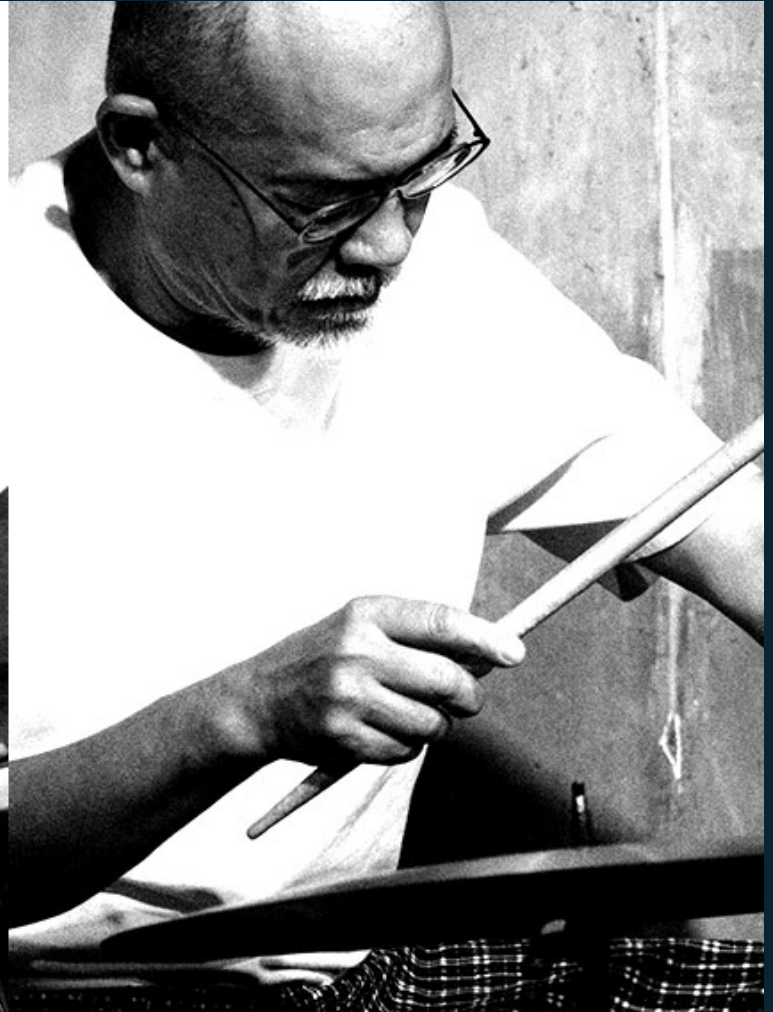
CAFE **B**EULMANS

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail: info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



関谷友加里

ピアニスト / 作曲家 大阪府出身。うねりと間を活かした独自の演奏スタイルと、歌心のある鮮やかなオリジナル曲を生み出す音楽家。4歳よりピアノを弾き始め、17歳でエレキベースの兄のバンドでライブデビュー。大阪音楽大学短期大学部でジャズを学び、在学中より演奏活動を始める。首席で卒業後、ポールプレイに傾倒。フリーインプロヴィゼーションと作曲に注力した活動へシフトする。2004年、ピアノトリオでの全曲オリジナル1st ミニアルバム「a sunset glow」を発表。2008年、水谷イズル氏(映像作家)のワークショップへ自作曲を提供。2009年、森定道広(b)率いる集団「メロンオールスターズ」でロシアツアーに参加。バイカル湖畔でのオリフォンフェスタ'09に出演。2010年、「関谷友加里オーケストラ」を結成。2011年、自己のグループ「関谷友加里トリオと田中ゆうこ」(通称せきちゅう)「ありふれた愛なので・・・」を全国リリース。2013年、石川県加賀温泉郷フェス2013、せきちゅうでグランプリを受賞しメインステージへ出演。2020年、Home Studioより即興と風景のSolo Improvisation Project「Out of the Window」を始動。2023年、森下周央彌(gt)とのユニット「sepia-avaruutta」を始動。2024年、ポーランドのサクソ奏者、Adam Pierończykとのデュオ初共演で好評を得る。大塚恵(b)、大森ひろ(ds)とのピアノトリオ「Mapaternal」、有本羅人(tp.bcl)との双頭リーダーグループ「Quantum Standard Quartet」を始動。現在、即興(抽象)と作曲(具体)をシームレスに繋げ深めることを軸に全国で活動中。国内外のジャンルの垣根を越えた音楽家や舞踏家、画家などの表現者と共演も多く、「感情が揺さぶられる音楽」と各方面のファンに支持されている。大阪音楽大学ジャズ専攻非常勤講師。2025年春、8人の音楽家とのデュオを収録した2枚組「DUETS Till Now, From Here」をリリース。「Umishima Records」を立ち上げ、こだわりのグッズ制作を展開している。

芳垣安洋

打楽器奏者、作編曲家。ジャンルを飛び越えてビートとメロディーを紡ぐ打楽器奏者。兵庫県出身。'90年代、Altered States、モダン・チョキチョキズ、渋さ知らズ、Ground Zero、ROVO、DCPRGなどのジャズ〜アヴァン・ポップを牽引したバンドのメンバーとして活動。大友良英、内橋和久、スガダイロー、山下洋輔、坂田明、菊地成孔、柳原陽一郎、おおはた雄一、UA、ROLLY、カルメン・マキ、ホッピー神山、レナード衛藤、ヤドランカ、ビル・ラズウェル、ジョン・ゾーンなど様々なミュージシャンと共演。大編成ジャズグループ「オルケスタ・リブレ」打楽器アンサンブル「オルケスタ・ナッジ!ナッジ!」ピアノトリオ「オン・ザ・マウンテン」など多様なグループを主宰。海外公演も多数。「リズム&ドラムマガジン」にコラムを連載中。文学座などの舞台演劇、「Co. 山田うん」などのコンテンポラリー・ダンス、映画、TVドラマ、アニメーションなどの音楽制作にも数多く携わる他、大友良英が音楽監督を務める2019年NHK大河ドラマ「いだてん」の音楽制作に深く関わる。
<http://y-yoshigaki.com/index.html>